

No.1 北海道・旭川市（企業版ふるさと納税等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、地域資源を活用した地域経済循環
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（年8回の訪問及び隔週でのオンライン会議への参加）
キーワード	#企業版ふるさと納税 #シティプロモーション #地域ブランド創出

【目的】

旭川市のさらなる魅力を発掘し、企業版ふるさと納税を活用した取組の周知やシティプロモーションにより、地域活性化を図る。

【内容】

- **企業版ふるさと納税を活用した取組の周知**
 - ・ 庁内における企業版ふるさと納税制度活用方法の周知
 - ・ 外部機関と連携した企業版ふるさと納税活用事業のPR
- **シティプロモーション**
 - ・ シティプロモーションによる地域活性化

【成果】

- **庁内向け制度説明会の開催**
 - 庁内における認知度向上による寄附活用事業の増
- **外部機関と連携した事業PR**
 - 外部機関からの寄附企業紹介による寄附額・寄附件数の増
 - 令和6年度に過去最高額を達成
- **シティプロモーションによる地域活性化（見込み）**
 - 旭川市の特性や観光資源を活用したコンテンツの拡充
 - 地域ブランドの確立、地域経済の活性化、人口・観光客の増など



あさひかわ街あかりイルミネーション（寄附を活用した事業例）



企業版ふるさと納税活用事業の紹介パンフレット

No.40 秋田県井川町（ふるさと納税の活性化）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地場産品発掘、地域ブランディング
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年5回程度）
キーワード	#地域ブランディング #ふるさと納税 #特産品（返礼品）開発

【目的】 他地域の事例を踏まえた返礼品開発やそのために必要な体制づくりを行い、販売戦略やアプローチ方法など当町の実情にあった取組で地域ブランディング及びさらなるふるさと納税活性化を目指す。

【内容】

- ふるさと納税活性化に向けた検討会
- 他地域の取り組み共有
- 地場産品を活用した返礼品開発アドバイス
- 加工品開発に向けた助言



商品化された枝豆・栗のプリン

【成果（見込み）】

○各種ポータルサイトにおける他自治体の取り組み状況の調査・共有。

○ふるさと納税寄附件数・額の増加

令和4年度	寄附件数	寄付額	令和7年度	寄附件数	寄付額
	167件	2,619,000円	(11月末時点)	10,266件	304,625,500円

○原材料を活かした商品開発をするため“他地域の事業者とのマッチング”を提案。

⇒マッチング事業者からアドバイスを受け、町内加工所において商品化へ（今後、ふるさと納税返礼品へ登録見込み）

No.55 茨城県茨城町（農産物イメージアップ事業）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓）
活用期間（頻度）	令和7年度（全7回）
キーワード	#農産物 #規格外農産物 #地場産品 #販路開拓 #加工品 #新商品開発 #試作品 #ふるさと納税 #加工施設 #地域資源 #地域ブランディング

【目的】

農畜水産物加工施設の運営に関する知見やノウハウと実践力を併せ持つ外部専門家を招へいし、町内産農畜水産物の付加価値向上を目指し、新たな農畜水産物加工施設の新設に向け、課題解決を図る。

【内容】

- 町内産農産物を使用した新商品の試作・一部試験販売
- 加工施設新設に係る検討
- ふるさと納税返礼品の寄付額・寄付件数の向上に向けたアドバイス



ふるさと納税寄付額
アップに向けた意見交換会



先進地視察
（工房Wemam）

【成果（見込み）】

- 町内産規格外農産物を活用した試作品（工房Wemam協力）
（推したい農産物を3品（米・メロン・さつまいも）に絞り込みブランディング）
 - ・イバラキングのジェラート
 - ・優香メロンのゼリー
 - ・おこめのジェラート
 - ・アールスメロンのジェラート
→限定500個を常磐自動車道 友部SA上り線 おみやげの蔵にて限定販売
 - ・焼き芋プリン
- 加工施設新設・地域商社新設に向けた取り組み
 - ・先進地視察（茨城県下妻市・工房Wemam）
 - ・加工施設のラフ図作成、保健所相談
 - ・規格外農産物の活用に関する生産者向けセミナーの開催



アールスメロンの
ジェラート（友部SA）



焼き芋プリン
（試作）

No.56 茨城県八千代町（町の魅力発掘・ブランド化等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、観光振興・交流
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#魅力発掘 #シティプロモーション #賑わい創出 #世代間交流 #地域ブランド化 #若手活躍 #地域連携 #シビックプライド

【目的】白菜日本一の町として知られる八千代町が、さらなる町の魅力を発掘・再発見し、住民参加型のシティプロモーションや町のブランド化の取組みを継続性を持って行う体制づくりを構築するとともに、地域活性化の取組みに関する知見やノウハウを活かし、ふるさと納税制度のさらなる活用及び返礼品開発につなげていく。

【内容】

- 白菜日本一の町のブランド向上に向けたPR企画
- 行政提供サービスの紹介動画への町民参加の企画の伴奏支援
- 他地域の取組み事例の紹介やメディアとの連携支援



白菜日本一のブランド化
検討会議



八菜まわーる号紹介動画
の絵コンテと衣装指示書



八菜まわーる号紹介動画
の撮影映像素材

【成果（見込み）】

- 白菜日本一を標榜するための深い知識を住民が理解するための“検定”制度などの仕組化を提案。
町民参加の仕組みづくりのために白菜レシピのコンテストの企画、検定本の制作立案、料理研究家やメディアとの連携の企画を提案し、令和8年度の予算化や具体的な推進内容について検討を進めている。

令和7年度に具体的な取組みを推進する方針が決定 ⇒ 令和8年度検定の仕組化へ

- 町の機能向上についての町民向け紹介動画の制作企画

町民の利便性向上を目的に導入したデマンド交通「八菜まわ〜る号」の利用促進を目的とした動画制作において、外部にすべてを発注するのではなく、できる限り手作りで職員と町民が一体となって制作する企画を推進。

職員と町民が出演する紹介映像が撮影され、町民30名が撮影に参加。編集を経て令和7年度内に公共施設等で公開予定。

No.82 富山県・舟橋村（町の魅力発掘、特産品・返礼品開発）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環（地場産品発掘・販路開拓） シティプロモーション・地域PR（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和5年度～令和7年度（年45日程度）
キーワード	#ふるさと納税 #地域活性化 #商品開発 #魅力発信 #シティプロモーション #販わい創出 #世代間交流 #地域ブランド化 #地域連携 #シビックプライド

【目的】

本村は日本一小さな村であることから、事業者等が少なく、特産品やふるさと納税返礼品等の商品開発が難しいが、ふるさと納税の寄付金額増等は喫緊の課題であるためそのノウハウを必要とした。また観光資源等がほとんどなく、交流人口は少ないが、富山市に隣接するベッドタウンであり、若い世代の転入が多く、大半が核家族であるため、地域の活動が希薄化している等の課題解決のための施策としてひまわりを使ったコミュニティ活動の推進をすることとした。

【内容】

- サンフラワープロジェクト（事業実施に向けた先行事例の紹介）
秋田県大館市で実施した先行事例を紹介。村の課題解決として、ひまわりの種植えから草取り、収穫を若い世代や高齢者とともに実施。コミュニティの希薄化の解消や、新たな商品開発の企画検討（見込み）
- ふるさと納税返礼品開発（先行事例の紹介及び連携可能業者の発掘）
村内の施設を改修し、加工品の製造を可能とする加工場設置に向けたアドバイス業務



加工品開発に向けた打ち合わせ

【成果（見込み）】

- サンフラワープロジェクトの実施
20aのひまわり畑の新規創出、テレビ・新聞による報道、種まきイベントの村内外への周知、ひまわり油を活用した料理教室の開催
- ふるさと納税返礼品開発
サンフラワープロジェクトによるひまわり関連商品の開発（見込み）
新規加工所改修による農産物加工品等約10品目の新規返礼品の開発（見込み）
ひまわり油の搾油（12ℓ）



サンフラワープロジェクト実施圃場⁸³

【R6】No.15 茨城県八千代町（町の魅力発掘・ブランド化等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	#魅力発掘 #シティプロモーション #賑わい創出 #世代間交流 #地域ブランド化 #若手活躍 #地域連携 #シビックプライド #ふるさと納税

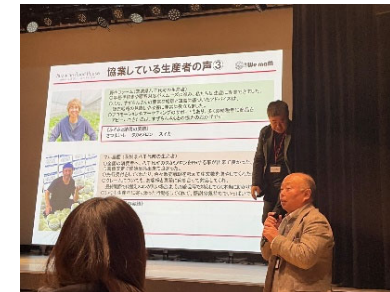
【目的】白菜日本一の町として、知られる八千代町がさらなる町の魅力を発掘・再発見し、住民参加型のシティプロモーションや町のブランド化の取組みを継続性を持って行う体制づくりを行うとともに、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを活かし、ふるさと納税制度のさらなる活用及び返礼品開発等につなげていく。

【内容】

- 白菜日本一の町のブランド向上に向けたPR企画
- 生産者の活動を広く周知するための勉強会の開催
- 町のPR動画を制作する高校の取組みを支援
- 地域ブランド化の取組み事例の紹介や連携



白菜日本一のブランド化
検討会議



アミューズ主催勉強会で
の八千代生産者の紹介



八千代高校での映像講義

【成果（見込み）】

- 白菜日本一を標榜するための深い知識を住民が理解するための“検定”制度などの仕組化を提案。
令和7年度に具体的な取組みを検討することとなった。 ⇒ 次年度検定の仕組化へ（見込み）
- 町のブランド化を進めている富士河口湖町と本社を当町に移転しまちづくりに取組む株式会社アミューズを紹介し現地訪問。
町の音楽フェス立上げメンバー3名を随行させ、民間と行政の連携の様子やメディアの活用・プロモーション手法などを学んでもらった。
アミューズ主催の勉強会において八千代町の実産者の取組みを紹介。60名の聴講者の参加を得た。
今後連携したふるさと納税の加工返礼品などの開発やまちのブランドPRについて連携協力を進めていく。
- 八千代高校で3年生が取組んでいる町のPR動画制作に関して、企画制作に関する講義を行い、町への興味関心を惹く動画について指南。その意図を汲んだ3本の動画が完成し、完成後の講評も行った。
次年度以降も、高校とも参加型のまちづくりの活動の連携を図っていく。